

令和7年度 教科・科目年間指導計画

教科名	科目名	担当者名	必修・選択別	単位数	対象年次	
芸術	書道 I	稲田	必修	2単位	1年次	
教科書・補助教材等(出版社)			添削指導	面接指導	視聴報告書	
701書道 I (東京書籍)			6回	4時間	1回	
701書道 I (東京書籍インターネット講座)						
科目の指導目標						
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。						
区分	回数	指導内容				
添削指導	第1回	レポート1 教科書P.2~9				
	第2回	レポート2 教科書P.10~37				
	第3回	レポート3 教科書P.38~58				
	第4回	レポート4 教科書P.59~73				
	第5回	レポート5 教科書P.74~103				
	第6回	レポート6 教科書P.104~138				
面接指導	1時間目	講師自己紹介,授業目的,授業の流れ,書写と書道の違い,文房四宝(紙墨硯筆),文字の変遷				
	2時間目	硬筆実技,鉛筆の持ち方,道具の使い分け,ハガキや封筒の宛名書き,鉛筆で下書き,ボールペン及びフェルトペンで清書(プリントを使って下書き,ハガキに清書)※ハガキを送る相手の住所を調べておく,自分宛てでも可				
	3時間目	毛筆実技(道具の配置,名前の説明,筆の使い方,墨の付け方,筆の持ち方,姿勢)細い線から太い線へ書いていく(横線・縦線),回転(円)運動,楷書と行書の違いについて,楷書:九成宮醜泉銘(欧陽詢),行書:蘭亭序(王羲之),小筆で名前を書いてそれぞれ一枚提出(書き終わらなかつたら4時間目にも書いても良い)				
	4時間目	ハガキを書く,筆(大筆,小筆)を一部に使って(他筆記具は自由),相手に気持ちが伝わるような文章や絵を書く※相手は自分であっても良い				
		※スクーリング時、出欠簿に観点Cの3段階評価○,×,△を記入する。				
	また、実技科目(体育及び書道)のみ観点Aの5段階評価A,B,C,D,Eを記入する。					
試験	出題範囲	主として添削指導内容、報告課題、面接指導内容から出題				
評価	評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度				
	評価の方法	添削・課題・面接等の取組状況と試験の結果により総合的に評価				